

タイ国内 不正薬物関連ニュース(25年7月中旬-8月上旬)

・ 7月16日 タイ保健省、エトミデートを第2種麻薬に再分類 7月30日から施行。

タイ保健省は、新たな大臣告示を通じて、「エトミデート (Etomidate)」を麻薬法に基づく「第2種管理薬物」に再分類しました。この変更は、違法な製造や乱用の増加、特に電子タバコ液への混入などの事例が報告されていることを受けての措置です。これまでエトミデートは医薬品として管理され、刑罰も比較的軽いものでしたが、タイ麻薬取締委員会 (ONCB) の調査により、国内での不正な合成・流通の実態が明らかとなり、より強力な法的対応が必要と判断されました。

2025年1月頃から、バンコクでは蔓延している危険薬物入り電子タバコ “ゾンビポッド” に混合される麻酔薬。

(情報ソース: https://www.facebook.com/nbtworld/posts/1135254935305302?ref=embed_post)

・ 7月27日 バンコク高級コンドで薬物入り電子タバコパーティ。男女5人を逮捕。

バンコク・ディンデン地区の高級コンドミニアムで、誕生日パーティーに見せかけて集まっていた男女5人が、麻薬の使用・製造・販売の容疑で警察に逮捕されました。現場では、薬物を混ぜた電子タバコ用リキッドを作る機器や、大量の香料、注射器、攪拌機、リキッドを充填する装置、そしてケタミン入りPODヘッドが100パック以上押収されました。

笑気ガスの入ったタンク、13台のスマートフォン、吸引器具、そしてメタンフェタミン (通称アイス)、エクスタシー、ケタミンなどの麻薬も発見されました。電子タバコに麻薬を混ぜて販売するLINEグループを運営していたことが判明しています。警察はこれらの行為について、「ケタミン入り電子タバコリキッドの製造・所持・販売 (いずれも無許可かつ商業目的)」、「消費者保護委員会の命令に違反して電子タバコや関連商品を販売・提供」など、複数の罪で告発しています。

(情報ソース: <https://today.line.me/th/v3/article/zN1Dvzg>)

・ 8月4日 バンコク・バンラックの違法ミャンマー系クラブを摘発 ～薬物や不法滞在者など多数検挙

2025年8月3日午前3時50分ごろ、バンコク都警察をはじめとする複数機関は、バンラック区内にあるミャンマー人経営のエンターテインメント施設に対して大規模な薬物取締り作戦「NO Drugs NO Dealers」を展開しました。

最初の店舗では以下の違反が確認されました:

電子タバコ24本、乾燥大麻入りタバコ15本、ミャンマー製タバコ8本を押収

雇用者情報の未届け出: 13名、オーバーステイ (滞在期限超過): 3名、不法入国者: 1名

無許可営業により店主を逮捕

2軒目のクラブでは、さらに深刻な違反が発覚: 薬物反応が出た利用者: 27名

無許可営業による摘発

(情報ソース: https://www.khaosod.co.th/crime/news_9878181)

・ 8月5日 タイ軍が麻薬運び屋5人を射殺 覚醒剤・銃器など押収

タイ北部チェンマイ県で、タイ軍のパトロール隊が先ごろ、ミャンマーと国境を接するファーン郡で麻薬の運び屋とみられる一行に遭遇して銃撃戦となり、5人を殺害し、覚醒剤135万錠、銃器などを押収した。

(情報ソース: <https://today.line.me/th/v3/article/5ylwGzx>)

タイ国内 不正薬物関連ニュース(25年7月中旬-8月上旬)

・8月5日 タイ警察、破戒僧侶ら181人を一斉搜索。性犯罪や寺院資金横領、麻薬取引など全国で不祥事多発。バンコク
タイ中央捜査局（CIB）は8月5日、全国200か所以上の地点に警察を派遣し、犯罪に関与したとされる154人の現役僧侶および27人の元僧侶（還俗）の搜索活動を開始した。

容疑者らは以下のような重大犯罪に関与していた疑いがある

- ・寺院の資金横領
- ・資金洗浄（マネーロンダリング）
- ・飲酒運転
- ・麻薬取引
- ・国際犯罪組織との関係

(情報ソース：<https://www.posttoday.com/general-news/728264>)

- 麻薬検査サービスについては下記ウェブサイトをご参照ください。

<https://npdh.co.th/th/>

- AED(自動体外式除細動器)レンタルサービスについては下記ウェブサイトをご参照ください。

<https://aed.npdh.co.th/ja/>



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS